

～第20話～「上下水道事業会計の令和3年度決算状況」についてのお話

水道事業会計

令和4年11月
Vol. 20

上下水道物語



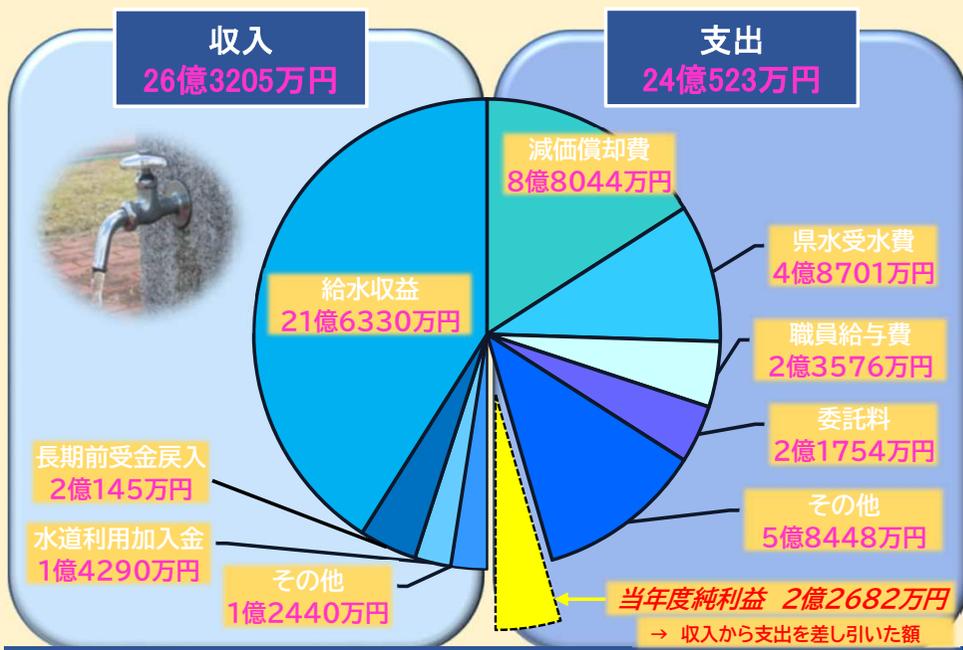
今後も経営環境が厳しさを増していくことを踏まえ、中長期の経営状況を見通し、事業の健全経営を維持できるように努めていきます。



水道マスコットキャラクター Dr.おしどー

【収益的収支】 ※金額は消費税抜き表示

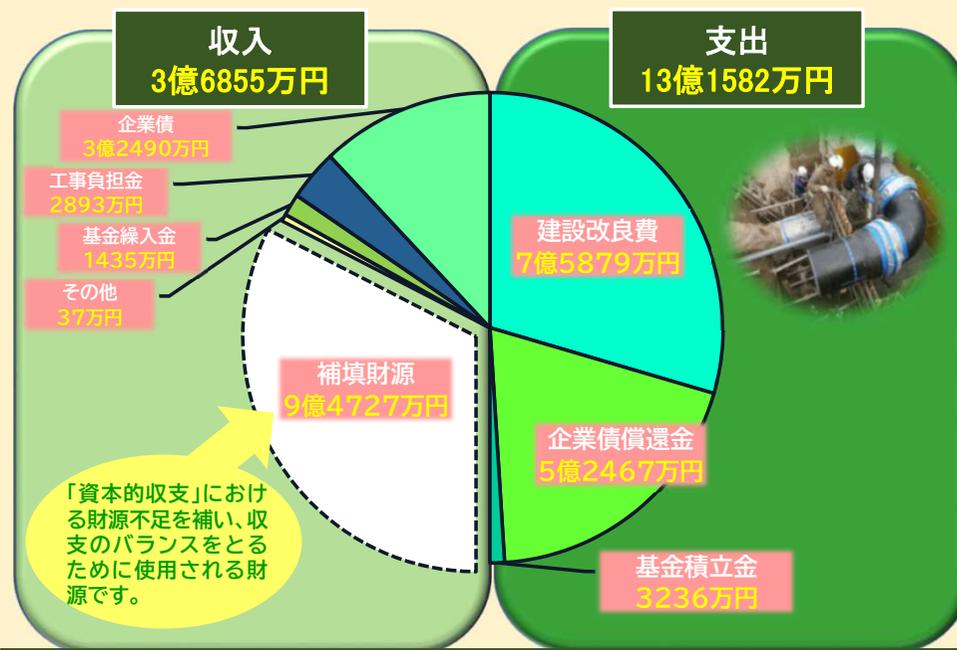
水道水を作り、各家庭などへ送り届けるための経費と財源



令和3年度の収益的収入は、前年度比で約1億9,200万円増となりました。これは、前年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減免措置を講じたことにより、主たる財源である給水収益が大幅な減収となったためであり、減免措置を講じなかった場合と比較すると、給水人口の減や節水の影響などにより、給水収益は1,600万円の減収となっています。また、収益的支出は、前年度比で7,500万円増となりましたが、純利益は前年度比で約1億1,800万円増の2億2682万円となりました。

【資本的収支】 ※金額は消費税込み表示

水道管や水道施設などの整備のための経費と財源



「資本的収支」における財源不足を補い、収支のバランスをとるために使用される財源です。

※収入の合計額は、補填財源を含まない額で表示

令和3年度の資本的収入は、前年度比で約1億9,500万円減となりました。これは、「企業債」の借入を抑制したことや新東名の建設に伴う工事負担金などが減少したためです。また、資本的支出は、前年度比で約1億900万円減となりましたが、多くは入札差金による建設改良費の減少によるものであり、おおむね計画通りに工事を執行しています。なお、収入額と支出額の差である、9億4,727万円は、企業会計のルールに従い、過年度分損益勘定留保資金(前年度以前に発生した内部留保資金)などで補いました。

公共下水道事業会計

下水道マスコット
キャラクター

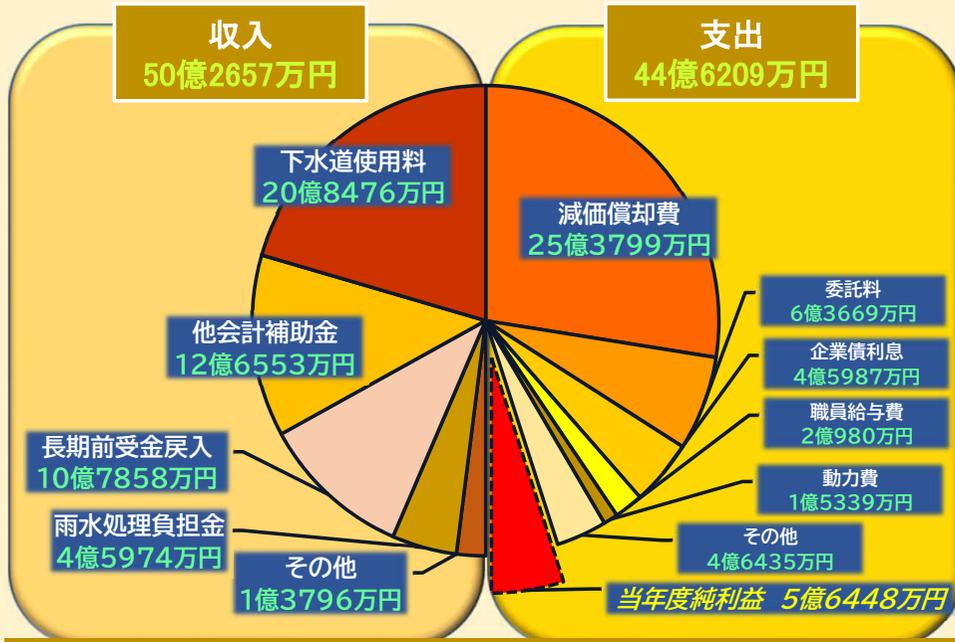


事業の健全経営、経営基盤の強化、負担の公平性のため、水洗化率の向上など、使用料収入の確保に向けて取組を強化していきます。

語句の説明

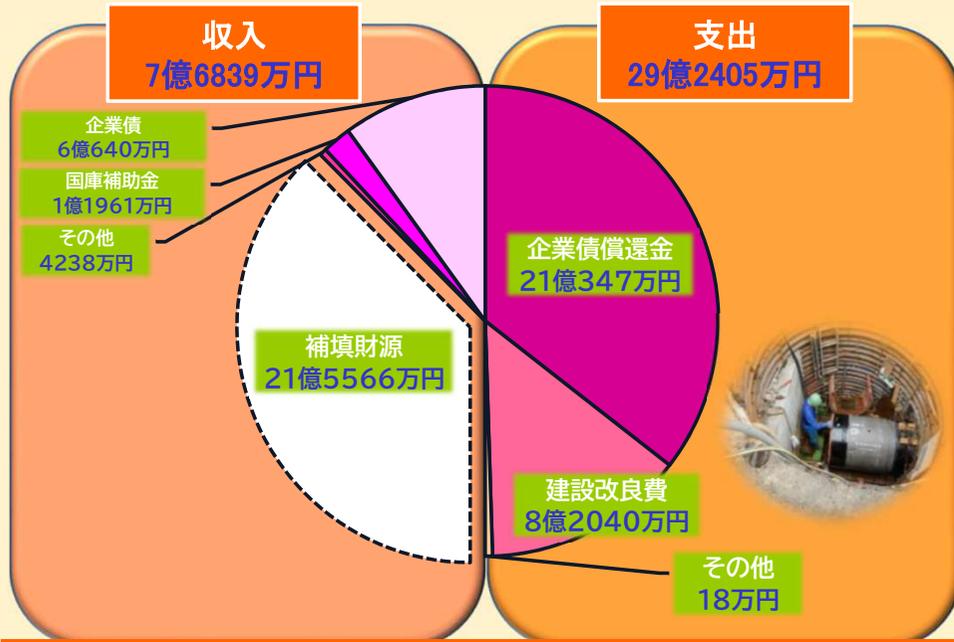
減価償却費 施設などは時間の経過で価値が減少するため、価値が減少する分を毎年の費用として処理するもの
 建設改良費 施設整備にかかった費用
 企業債 建設改良費に充てるため、国などから借りたお金
 建設改良費 施設整備にかかった費用
 企業債償還金 企業債を返済した費用
 長期前受金戻入 償却資産の取得などに伴い交付される国庫補助金等について、償却した額に充当して収益として整理したものを

【収益的収支】 ※金額は消費税抜き表示
 汚水や雨水を集めて処理するための経費と財源



令和3年度の収益的収入は、前年度比で約2億8,400万円減となりました。これは、他会計補助金(一般会計からの繰入金)などが減となったためです。また、汚水事業の中心が、整備・建設から維持管理・更新に移行しつつあるため、下水道への新規接続件数が減少傾向にあり、主たる財源である下水道使用料収益は、前年度比で約1,500万円減収となっています。また、収益的支出は、前年度比で約4,000万円減となりましたが、収入の減に伴い純利益は前年度比で約2億4,300万円減の5億6448万円となりました。

【資本的収支】 ※金額は消費税込み表示
 下水道管や下水道施設などの整備のための経費と財源



※収入の合計額は、補填財源を含まない額で表示

令和3年度の資本的収入は、前年度比で9,300万円減となりました。これは、工事などの事業費用が前年度より減となったことに伴い、国庫補助金も合わせて減となったためです。また、資本的支出は、建設改良費が前年度より減となったため、前年度比で約8,900万円減となりました。なお、収入額と支出額の差である、21億5,566万円は、企業会計のルールに従い、当年度分損益勘定留保資金などで補いました。